



私たち人類の
共通のテーマです

ホームパイル キャリー

環境にやさしい基礎工法



千代田工学株式会社

CHIYODA GEOTECH CO., LTD.

自然にやさしい
基礎工法

長年培った「杭」技術を集めた ホームパイルキャリー

地球環境の保全是、私たち人類の共通テーマです。建築物の基礎杭にも環境を破壊しない技術と共に、「安心と信頼」ができる施工技能者を強く求められています。千代田工営(株)は、無排土の回転埋設鋼管杭のパイオニアとして、日本建築センターの性能評価を受け、建設大臣の認定書を取得しました。①「スクリューパイル」②「T・Wingパイル」③「K・WingZパイル」④国土交通省との官民共同研究による認証の耐震補強技術「ねじ込み式マイクロパイル工法」⑤JRとの杭と柱の接続工法等、合計1万5千件を越える施工実績を積み重ねてきました。

これらの施工法を小型化したホームパイル キャリーは、住宅の基礎にまた増築の基礎・建物の沈下修正に、工場内の機械搬入困難な場所での構造物の不同沈下を阻止する「地業的」役割を担うものとして、特別条件下の地盤調査から基礎杭の設計・施工まで一貫体制で、皆様のご要望にお応えしています。



JR東日本東北本線ホーム上屋の施工



狭小通路の機械搬入



分解組立櫓の手搬入状況



中型機櫓



分解組立櫓の施工中

ホームパイル キャリーの特徴 (特許及び特許申請中5件)

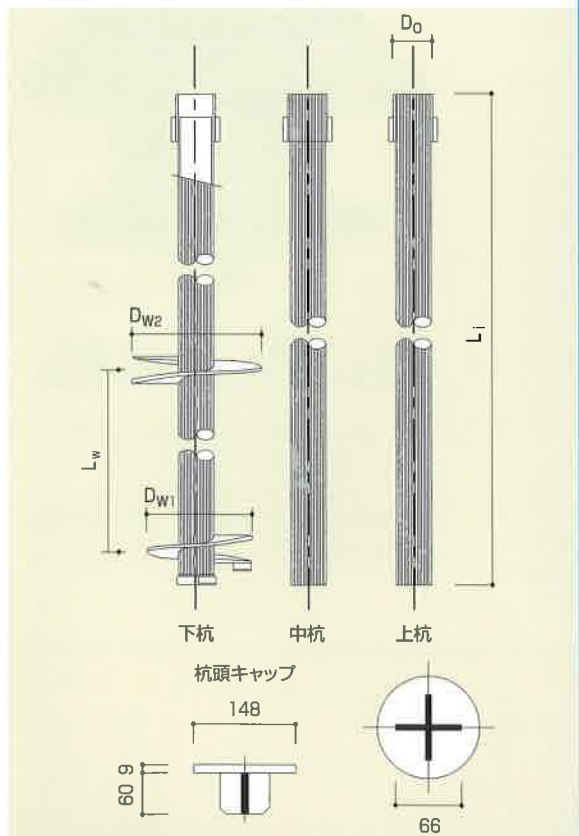
- 1.杭本体部には、耐震性に優れ、品質の安定した鋼管杭を使用しています。
- 2.独特の二枚翼が、支持層に確実に貫入し、支圧合成支持力を発揮します。
- 3.セメントミルクなどを使用しないので、地下水汚染の心配がありません。
- 4.低騒音・低振動・完全無排土施工により、周辺環境との調和を保ちます。
- 5.手運搬可能な分解組立櫓により、狭隘地や室内における施工が容易です。



ホームパイル キャリー
施工後の基礎補強

沈下修正のジャッキアップ

居住しながら床下沈下補強



ホームパイル キャリー

ホームパイル キャリーの諸元

(杭仕様の選択および杭の配置は弊社にご相談願います)

1.杭の寸法

規格	径 D ₀ (mm)	板厚 t (mm)	単管長 L ₁ (mm)	腐食代 (mm)	第1翼部		第2翼部		翼部 間隔 L _w (mm)	抵抗 面積 A _w (m ²)	※杭材の 長期許容 圧縮強さ (tf)
					径 D _{w1} (mm)	板厚 t _{w1} (mm)	径 D _{w2} (mm)	板厚 t _{w2} (mm)			
標準	76.3	3.2	1.5	1.0	230	9	280	9	600	0.0986	6.80
特厚		4.2	5.5								10.29

※圧縮強さは3本継ぎ(継手2箇所)の場合の値

2.鉛直支持力

杭先端部平均N値 \bar{N}		10	11	12	13	14	15
鉛直支持力 QaL (tf)	安全率3	3.3	3.6	3.9	4.3	4.6	4.9
	安全率2	4.9	5.4	5.9	6.4	6.9	7.4

3.杭径 $\phi 114.3 \sim \phi 265.4$ の施工も大型組立櫓により可能です。



ソケット継手



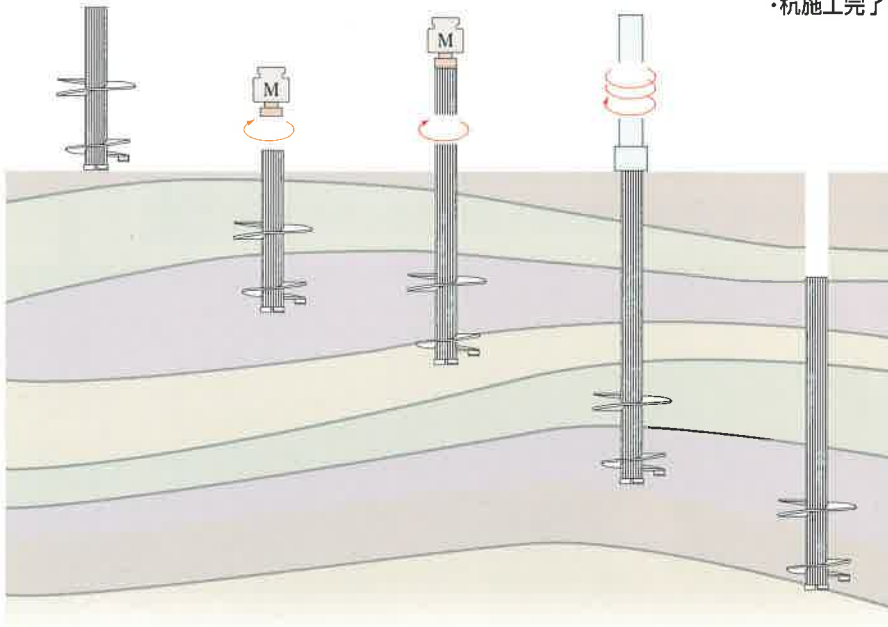
ソケット継手・溶接完了



杭頭キャップのセット

ホームパイル キャリーの施工順序

- 1.杭の建込み 2.回転埋設 3.上杭の接続 4.空打ち 5.空打杭引抜・杭施工完了



ホームパイル キャリー施工状況

⚠️「ご注意とお願い」

- 商品改良のために、杭または施工機械の仕様、外観は予告無く変更することがありますのでご了承ください。
- 本カタログの内容及び施工機械の能力、施工性についてのお問い合わせは、弊社または代理店にお願い申し上げます。
- 本工法は、地業的役割を担うもので、施工完了5年以内に万一不同沈下が発生した場合、生産物賠償保険を適用及び基礎補強をさせていただきます。

<免責事項>

- 本カタログに記載された事項に反した設計、施工により問題が発生した場合。
- 標準仕様以外に使用者の指示した仕様、施工方法などにより問題が発生した場合。
- 標準仕様以外の使用者から支給された材料、部品により問題が発生した場合。
- あらかじめ定めた用途、部位以外に使用し、それにより問題が発生した場合。
- 使用者もしくは第三者の故意または、過失により問題が発生した場合。
- 引渡し後、構造、性能、仕様などの改変を行い、これにより問題が発生した場合。
- 瑕疵(カシ)を発見後、すみやかに届がなされず、これにより問題が発生した場合。
- 設計及び施工時に通常予測されない周辺環境(高盛土・地下堀削・水位変化)に起因する問題が発生した場合。
- 設計時に想定された以上の不可抗力(天災、地震、地盤変動、火災、爆発など)が原因となり問題が発生した場合。



地に力、人に和。

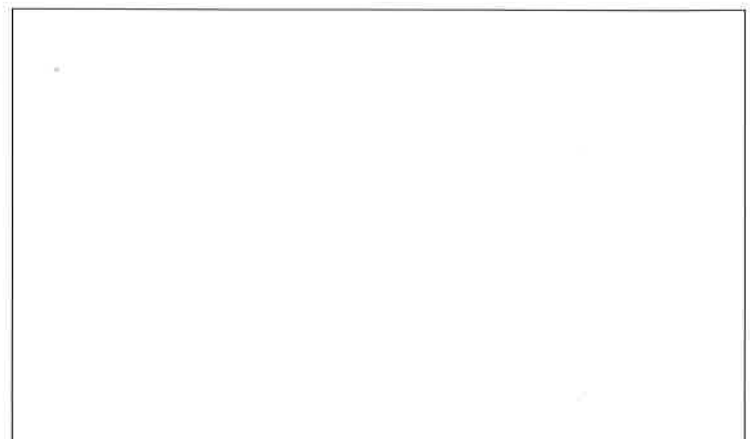
悠久の太古から、人類の文化と生活を
慈しみ育ててくれた母なる大地。
私たちは、この大地をもっとよく知り、
時代に即した関わり合いを求めて、挑戦し続けます。
情熱に裏打されたチームワークを支えとして……。



建設業者登録 国土交通大臣許可 土木工事業 特-12-16451
地質業者登録 国土交通大臣登録 地質調査業 質-13-1642

本社/〒330-0855 埼玉県さいたま市大宮区上小町940
TEL:048-642-4191 (代表) FAX:048-648-0899
E-Mailアドレス: wing-x@pop16.odn.ne.jp
ホームページアドレス: http://www2.odn.ne.jp/chiyoda

札幌事務所 TEL:011-857-4191 FAX:011-857-4196
栃木事務所 TEL:028-639-4191 FAX:048-648-0899
東京事務所 TEL:03-3252-4191 FAX:03-3252-9355
関西事務所 TEL:06-6356-4191 FAX:06-6358-4191
福岡事務所 TEL:0952-32-4191 FAX:092-807-7336
テクノ九州 TEL:0952-52-8778 FAX:0952-52-8970



カタログの内容及び仕様は、変更することがあります。

2006.2-2000